

かい ぎ ろく  
会 議 録

かいぎ めいしやう 会議の名称	へいせい ねんど だい かいこまきしたぶん かきやうせいきやうぎかい 平成27年度 第1回小牧市多文化共生協議会について				
かいさいにちじ 開催日時	へいせい ねん がつ にち ごご じ ~ 8 じ ぶん 平成27年9月17日(木) 午後7時~8時30分				
かいさいばしよ 開催場所	404 かいぎしつ 404会議室				
しゅつせきしや およ 出席者 及  けつせきしや び欠席者	○ しゅつせきしや 出席者 【委員】 さいれんじいん みやたいいん うえはらいいん つほやいいん ひが いいん おお 西連寺委員、宮田委員、上原委員、坪谷委員、比嘉委員、大 しまいん かきはらいいん いもと いいん すずき いいん あおやまいいん と だい 島委員、柿原委員、井本委員、鈴木委員、青山委員、戸田委 員(小牧警察署)、伊藤委員(小牧市国際交流協会)、澤木委員 (地域活性化営業部次長)  【事務局】 たけいちかちやう おがさわらかちやう ほ さ がんどうかかりちやう まつながしゅじ ほ 武市課長、小笠原課長補佐、丸藤係長、松永主事補  ○ けつせきしや 欠席者 ひろた いいん 廣田委員				
ぼうちやう か ひ 傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	ぼうちやうていいん 傍聴定員	10	ぼうちやうにんずう 傍聴人数	1
かいぎしだい 会議次第	1 かいかい 開会 2 あいさつ あいさつ 3 ない よう 内容 (1) ぜんねんど ふ かえ 前年度の振り返り (2) たぶん かきやうせい かん いけんしよ 多文化共生に関する意見書について 4 た その他				
といあわ さき 問合せ先	こまきしやくしよ ちいき かつせい かいぎやうぶ し て い ぶ ろ も ー し ょ ン か 小牧市役所 地域活性化営業部 シティプロモーション課 にぎわい 創出係				
かいぎ ないやう 会議内容	べっし さんしやう 別紙1参照				

ぜんぶ じきろく     じやうてん じきろく  
 全部記録     要点記録

かい 会	ぎ 議	ない 内	よう 容
<p>1. <sup>かい</sup>開<sup>かい</sup>会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>しみんけんしょうしょうわ</sup>市民憲章唱和</li> </ul> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>していぶろもーしょんかちょう</sup>シティブロモーション課長よりあいさつ</li> <li>・ <sup>いいんいしよく</sup>委員委嘱</li> </ul> <p>3 <sup>ないよう</sup>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>いいんちよう ふくいんちよう せんにな</sup>委員長、副委員長の選任</li> <li>→ <sup>いいん すいせん さわきいいん いいんちよう せんにな</sup>委員の推薦により、澤木委員を委員長に選任。</li> <li>→ <sup>いいんちよう すいせん おおしまいいん ふくいんちよう せんにな</sup>委員長の推薦により、大島委員を副委員長に選任。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <sup>かいぎ こうかい</sup>会議の公開について</li> <li>→ <sup>こうかい かいぎ りょうしょう</sup>公開の会議として了承。</li> </ul> <p>(1) <sup>ぜんねんど ふ かえ</sup>前年度の振り返り (<sup>じむきよく</sup>事務局)</p> <p>この<sup>たぶん かきょうせいぎょうぎかい</sup>多文化共生協議会は、<sup>こまきしたぶん かきょうせいすいしん ぶらん</sup>小牧市多文化共生推進プランを2011年、<sup>ねん へいせい ねん がつ さくてい</sup>平成23年の3月に策定してから、<sup>ぶらん しんちよく みまも かたち こべつ</sup>プランの進捗を見守る形で、個別に<sup>いけん き</sup>意見をお聞きしてきた。</p> <p><sup>ぶらん</sup>プランの<sup>きほんてき かんが かつ こくせき みんぞく</sup>基本的な考え方は国籍や民族などの異なる人々が、<sup>こと ひとひと たが</sup>互いの<sup>ぶんかてき ちが みと あ たいとう かんけい きず</sup>文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、<sup>ちいきしやかい こう</sup>地域社会の構成員として<sup>せいじん とも い</sup>共に生きていくことである。</p> <p><sup>ぶらん</sup>プランでは、<sup>きほんもくひょう かん</sup>5つの基本目標が掲げられている。</p> <p>これらの<sup>もくひょう たっせいりつ</sup>目標の達成率が、<sup>はいふしりょう ひょう</sup>配布資料2ページの表の②になる。<sup>じっししゅたい</sup>実施主体、<sup>じっこう ひと</sup>実行する人は、<sup>しやくしよ じちかい きぎょう</sup>市役所だけでなく、自治会だったり、企業などである。</p> <p>3ページ以降にその<sup>いこう しょうさい きさい</sup>詳細が記載してあるが、<sup>ねんど ねんど</sup>25年度と26年度ともそれぞれ、<sup>たっせいりつ</sup>達成率は<sup>たいてい</sup>だいたい、<sup>ていど</sup>30%から50%程度となっている。まだ<sup>じゅうぶん すうじ</sup>十分といえる数字ではないという<sup>にんしき</sup>認識である。</p> <p><sup>ぜんねんど さいご きぎょうかい さき</sup>前年度の最後の協議会では、<sup>よ あ</sup>先ほど読み上げた、<sup>もくひょう ひと</sup>5つの目標を一つずつ<sup>かくにん</sup>確認していただいた。<sup>もくひょう</sup>これらの目標は<sup>きほんてき</sup>とても基本的で、<sup>だいじ</sup>大事なものばかりである。<sup>ぶらん みなお あたら けいかく た</sup>プランを見直して新しい計画を立てるのではなく、<sup>ひきつづ</sup>引き続</p>			

き、この目標を推進していったほうがよいというご意見をいただいている。

小牧市の外国人市民の状況だが、現在は約7,000人の外国籍の人が住んでいる。リーマンショック以降減少してきた外国人市民の数も、少しずつ増加に転じてきている。今後も、景気の動向や国の制度の改正などにより、新しく小牧市に来る外国人市民はこれからもたくさんお見えになるとおもう。

だからこそ、このプランの基本的な目標を大事にして、小牧市は、外国人市民がお客様ではなく、地域社会の一員になって、生き生きと活躍をしていただく必要があると思う。

### (委員長)

ただいまの事務局説明で何か分からないことや質問、意見等あればお聞きしたい。

### (各委員)

・資料3 ページから12ページのめざすこと①から⑤の中で、日本人・外国人市民が実行する人としてチェックする項目があるが、その項目のチェックが少ない。何か対策はしているのか。

→プラン自体が浸透していないため、目標はあるがなかなか達成できていない状況である。今後、しっかりと情報発信を行い、プランの中身も啓発するような取り組みをしなければならないとおもっている。

・資料3 ページのめざすこと①について、防災に関する目標が掲げられているが、命に関わることなので、防災に関する講座等の取り組みを優先的に行ってほしい。

### (委員長)

今年度はプランの最終年度ということだが、まだまだ未達成の項目も多く見られるのでこのプランを指針として位置付け、引き続き皆さんとともに多文化共生を推進していこうと思うのでよろしくお願ひします。

## (2) 多文化共生に関する意見書について

### (事務局)

資料の13ページをご覧ください。多文化共生協議会はその事務局として、「必要に応じて市長に意見を述べるものとする」とある。先ほどご説明したが、今年度は、このプランの最後の年になるので、その総括と

して、この協議会から市長への意見書を提出したいと思っている。

### (委員長)

ただいまの事務局説明で何か分からないことや質問、意見等あればお聞きしたい。

### (各委員)

- ・文化の違いをお互いに理解し合えるようなコミュニケーションをとれる場がないからトラブルにつながることも多いと思う。日本人と外国人がコミュニケーションをとれる場を設けてほしい。
- ・情報伝達方法に関して、災害が起きたときにメールで知らせてくれるサービスがあるが、文面は日本語で記載してあるため、外国人には分からない。もっと単語をやさしくするとかふりがなをふるなどして理解しやすくすることが大切であると思う。フェイスブックなどの SNS に災害情報をアップすれば多くの人に発信できるため、そういったサービスも積極的につかっていったほうが良いと思う。
- ・防災に関するポスターを公共施設やスーパー、コンビニなどに貼ってもらえると、日本語があまり分からなくても誰かに聞いて内容を知ることができるし、絵も描いてあれば自然と頭に入ると思う。
- ・教会や、グループ等、外国人が多く集まる団体に情報伝達すればすぐに多くの人に伝わっていいのではないかと思う。
- ・自治会等のイベント等のお知らせ文書や申込書などについて、日本語だけのものが多く、外国人にとって理解が難しく、参加しようという意欲がわからない。もっと外国語表記のものを増やせば外国人の参加者も増えると思う。
- ・イベント等のお知らせ文書を翻訳し、外国人の参加意欲をわかせることは大事だが、翻訳だけで終わらせてはいけない。せっかくイベントのお知らせ文書を翻訳して外国人が参加しても言葉が分からずイベント自体を楽しめないと思うのでそのイベントで通訳者を常駐させるなど、言葉が分かる状況にしないと行けない。

## 4 その他

いただいた意見を踏まえて意見書を作成していく。

次回は未定のため、決まりしだい連絡させていただく。